

令和2年度事業報告書

公益社団法人 近畿海事広報協会

当協会は、内閣府の認定を受けた公益社団法人であり、「近畿地区において、海の恩恵を始めとする海事思想の普及宣伝を行い、もって一般国民の海事に関する知識の啓発を図り、あわせて海事産業の発展を期することにより、平和を希求する海洋国家日本の経済社会の維持発展と国民生活の安定向上に寄与すること」を目的としています。

近畿運輸局をはじめ、関係機関・関係諸団体・関係業界各位並びに会員の皆様方のご支援のお陰をもちまして、令和2年度の公益目的事業等を実施することができましたので、その概要をご報告申し上げます。

I、公益目的事業

1、体験活動等（公益目的事業区分4）

（1）船との出会い事業「海の教室」

四面環海で海からの恵みを受け、国民生活の基盤を海外との貿易・海上輸送に依存しているわが国では、海運・造船・舶用工業・港湾・物流などの海事産業の果たすべき役割が極めて重要であり、青少年や一般市民のみなさんに海事産業の重要性を理解してもらい、海に対する関心を高めてもらうことが不可欠です。

特に若い世代の海への理解を深めるとともに教育現場の理解を得るため、公益財団法人日本海事広報協会からの受託事業「船との出会い事業」と連携し、公益財団法人日本海事センターの助成金・補助金を受け、関係団体・事業者・学校・教育委員会などの協力を得て、各種船舶の乗船体験、船舶・港湾・造船所・倉庫・海洋博物館など海事産業関連施設の見学を行う体験型学習会「海の教室」を近畿運輸局との共催により実施しています。

今年度は、新型コロナウイルス感染予防対策が実施されている中での事業となりましたので「(公財)日本海事広報協会及び(公社)各地方海事広報協会主催等のイベントにおける新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン(令和2年6月1日(公財)日本海事広報協会作成)」に基づき、イベントスタッフ及び参加者への新型コロナウイルス感染拡大を防止するための対策を講ずることとしました。

年度当初には、近畿各地の中学校(約1,100校)及び各地区の関係先に“船との出会い事業「海の教室」”参加者募集チラシや冊子「日本の海運 SHIPPING NOW」を配布したところ、コロナ感染状況の落ち着いた秋を迎える頃から参加申し込みがあり、近畿若年内航船員確保推進協議会、紀南海運協会等の海事関係団体と連携し、次のとおり実施することができました。

また、今後のコロナウイルス感染に対応した事業として「デジタル・オンラインを活用した出前授業」に取り組むため、小中学校での「ICT(情報通信技術)を活用した学習についてのアンケート」を行いました。アンケート調査は「海の教室」や「中学生海の絵画・作文コンクール」に参加してくれた小学校29校・中学校92校を対象に行ない、小学校14校・中学校27校から回答をいただ

きました。

アンケート結果は、いわゆる ICT 活用学習をしたことがあるとの回答は 41 校、インターネット環境が使用可能が 38 校、当協会が「デジタル・オンラインを活用した出前授業」を実施した場合に取り入れ可能で海事産業に興味がある学校は 19 校でした。

1. 乗船体験会及び海事産業関連施設見学会

- 令和 2 年 9 月 14 日 「サンタマリア」乗船体験会(船長のお話し、船内見学、救命胴衣着用体験、ロープワーク教室、大阪港内見学)を大阪市・大阪港で実施した。(大阪市立八幡屋小学校 5.6 年生と先生 67 名参加)
- 〃 10 月 2 日 「紀の松島めぐり観光船」乗船体験会(湾内見学)&勝浦市場(漁協組合員のお話し、マグロの市場見学)・くじらの博物館見学会(学芸員によるくじら講座、イルカとのふれあい、館内展示見学)を和歌山県那智勝浦町勝浦港・太地町太地港で実施した。(新宮市立高田小学校 1~6 年生と先生 19 名参加)
- 〃 10 月 8 日 「サンタマリア」乗船体験会(船長のお話し、船内見学、救命胴衣着用体験、ロープワーク教室、大阪港内見学)&「海遊館」見学会(学校の遠足)を大阪市・大阪港で実施した。(大阪市立都島小学校 3 年生と先生 58 名参加)
- 〃 10 月 16 日 「紀の松島めぐり観光船」乗船体験会(湾内見学)&勝浦市場(漁協組合員のお話し、マグロの市場見学)・くじらの博物館見学会(学芸員によるくじら講座、イルカとのふれあい、館内展示見学)を和歌山県那智勝浦町勝浦港・太地町太地港で実施した。(串本町立古座小学校 6 年生と先生 16 名参加)
- 〃 10 月 20 日 「サンタマリア」乗船体験会(船長のお話し、船内見学、ロープワーク教室、大阪港内見学)&「海の大切さと船員の仕事」講演(上窪良和さん)を大阪市・大阪港で実施した。(大阪市立南市岡小学校 3 年生と先生 59 名参加)
- 〃 10 月 22 日 「サンタマリア」乗船体験会(船長のお話し、船内見学、救命胴衣着用体験、ロープワーク教室、大阪港内見学)&「海遊館」見学会(学校の遠足)を大阪市・大阪港で実施した。(大阪市立柏里小学校 3 年生と先生 51 名参加)
- 〃 10 月 23 日 串本海中公園センター見学会(水族館飼育体験・海中展望塔見学)・檜野埼灯台・トルコ記念館見学会を和歌山県串本町・太地町で実施した。(古座町立明神小学校 2~6 年生と先生 15 名参加)
- 〃 11 月 5 日 「サンタマリア」乗船体験会(船長のお話し、船内見学、救

命胴着用体験、大阪港内見学) & 「海遊館」見学会
(学校の遠足)を大阪市・大阪港で実施した。(大阪市
立市岡小学校2年生と先生66名参加)

2、海の日キャンペーン・海の月間（公益目的事業区分8）

(1) 「海の日」・「海の月間」関連行事広報事業

国民の祝日「海の日」を迎えるに当たり、国土交通省主唱の下、各地で実施される「海の月間」には、各関係機関のご支援並びに関係諸団体のご協力をいただきました。

大阪地区では「海の月間実行委員会」を新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から書面により開催し、各運輸支局・海事事務所所在地においても関係団体が連携し、青少年をはじめ広く一般市民の海の恩恵に対する関心を高め、海や海事産業の重要性を認識してもらうことを目的とした催しが新型コロナウイルス感染拡大防止対策を実施して行われました。

当協会は、公益財団法人日本海事広報協会からの受託事業である「海の日」・「海の月間」関連行事広報と連携し、近畿地区で行われる各種イベントについて令和2年「海の月間」行事案内を作成し当協会ホームページやフェイスブックに掲載するとともに、関係団体が開催する「海の日」・「海の月間」行事と連携して広報資料や海の日グッズを配布するなど、国民の祝日「海の日」（海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を願う日）の意義を理解してもらうための広報活動を行いました。

(2) 「海の日」表彰候補者の推薦と「海の日」表彰式・祝賀会

例年「海の日」を祝う行事として開催されている近畿運輸局・大阪海上保安監部の主催による海事関係功労者表彰式典と当協会主催による「海の日祝賀会」については、新型コロナウイルス感染症による現状を鑑み本年は中止することとなりました。

なお、受賞者への表彰状の伝達及び授与につきましては、政府の「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」に基づく措置を図り、令和2年海事関係功労者表彰式が大阪港勤労福祉会館にて7月28日（火）に規模を縮小して行われました。

また、舞鶴・和歌山・勝浦の運輸支局・海事事務所においても、それぞれ規模を縮小し海事関係功労者表彰式が行われました。

当協会は、「海の日」表彰候補者の推薦について広く一般に周知するとともに、「海をきれいにするための一般協力者の奉仕活動表彰」の推薦と、海事関係事業の従事者として永年勤続された方々の「海事関係功労者表彰」候補者の推薦を行ないました。

当日、海事関係功労者表彰の栄に輝かれた方々は、いずれも多年にわたり海事関係の業務に従事され功績のあった方々であり、受賞者の内訳は、国土交通大臣表彰6名、国土交通大臣感謝状1社、近畿運輸局長表彰58名、海上保安庁長官（感謝状）9名、第五管区海上保安本部長（感謝状）5名、第八管区海上保安本部長（感謝状）3名、大阪海上保安監部長（感謝状）3名、舞鶴海上保安部

長（感謝状）1名の方々でした。

3、表彰、コンクール（公益目的事業区分14）

（1）第57回中学生海の絵画コンクール

わが国は、海からの恵みを受け、国民生活の安定向上と産業活動の維持発展の基盤を、海外貿易と海上輸送に依存する四面環海の国であり、海運・造船・船用工業・港湾・物流などの海事産業の働きは極めて重要です。

このため、次代を担う中学生から「海の絵画」を募集することにより、海事に関する関心を高め、海事知識を深めてもらうことを目的に、近畿運輸局、大阪海上保安監部、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、（株）日本海事新聞社の後援のもとに実施しました。

本年も近畿各地の中学校・絵画教室（約1,100校）及び関係先に募集チラシを配布し、船舶・港・海の生物・海や船で働く人・海の環境保全など海を自由に表現した絵を募集しました。

今回は新型コロナウイルス感染症防止対策として各中学校が休校となったことにより、学校からの応募は1校のみとなり、個人や絵画教室からの応募を中心に17校・24点の応募となりました。

審査は、山中卓・平井洋子先生を中心に審査会を開催し、金賞1点（近畿運輸局長賞）、特別賞1点（大阪海上保安監部長賞）、銀賞2点（大阪府知事賞・大阪市長賞）、銅賞6点（近畿海事広報協会会長賞）、佳作14点（同）を決定し表彰するとともに、受賞作品を当協会ホームページ・フェイスブック及び機関紙「近畿海事広報協会たより」に掲載し、金賞・特別賞・銀賞・銅賞・佳作の受賞者に対する賞状・賞品と参加者への参加賞を各中学校に送付しました。

金賞（近畿運輸局長賞）には、大阪市立咲くやこの花中学校2年・中尾大悟さんの「Large set!」、特別賞（大阪海上保安監部長賞）には、大阪市立堀江中学校3年・永島雅さんの「海の世界」、銀賞（大阪府知事賞）には、西宮市立鳴尾中学校3年・乾琴実さんの「リズム」、銅賞（大阪市長賞）には、大阪市立花乃井中学校3年・藪井初音さんの「カッターレース」が受賞しました。

また、2016年度より全国中学生絵画コンクール（主催：公益財団法人日本海事広報協会）と統合された、第48回「我ら海の子展」（主催：一般財団法人サークルクラブ協会・公益社団法人日本海洋少年団連盟）中学生の部に、全ての応募作品を団体として応募しました。

「我ら海の子展」の東京で行われた審査会において、大阪市立咲くやこの花中学校2年・中尾大悟さんの「Large set!」が「佳作」を受賞しました。

なお、第48回「我ら海の子展」受賞作品展は、銀座ギャラリー・国土交通省1階ロビーなどで開催されました。

（2）第54回中学生海の作文コンクール

中学生海の絵画コンクールと同様に、次代を担う中学生に海や船に対する関心を深めてもらうため、近畿運輸局、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、

（株）日本海事新聞社の後援を得て、本年も近畿各地の中学校約1,100校及び関係先に募集チラシを配布し、海や船などを題材とする作文を募集したところ、

15校501点の応募がありました。

審査を高田文月先生（大阪文学学校講師）にお願いし、金賞1点（近畿運輸局長賞）、銀賞3点（近畿海事広報協会会長賞）、銅賞6点（同）、佳作30点（同）を決定しました。

金賞は、大阪教育大学附属平野中学校3年・森山惺子さんの「ひいおじいちゃんちとチーズ」、銀賞は、大阪教育大学附属平野中学校2年・村上夢奈さんの「私が勧めるマテ貝採り」、大阪市立堀江中学校2年・桐淵蘭さんの「プラスチックによる環境破壊」、吹田市立第一中学校3年・山口大芽さんの「父の話」が受賞しました。

上位10点の受賞作品については、当協会機関紙「近畿海事広報協会たより」に掲載するとともに、全受賞作品を当協会ホームページ及びフェイスブックで公表し、受賞者に対する賞状・賞品と参加者への参加賞を各中学校に送付しました。

（3）第42回海の写真コンクール

「海の日」・「海の月間」関連行事の一つとして、海・船・港・海運・造船等の海事産業への関心を深め、海事知識の啓発・向上を図るため、湖・川・魚などを含め広く海に関係するテーマの写真を、地域・年齢などは問わず全国から募集しました。

この事業は、近畿運輸局、大阪海上保安監部、大阪府、大阪市、大阪商工会議所、（公財）関西・大阪21世紀協会、（株）海遊館、（一社）日本長距離フェリー協会、（一社）日本海事代理士会、（株）日本海事新聞社、（株）海事プレス社の後援のもと、（公財）海上保安協会大阪支部、大阪府港湾協会、（公社）大阪港振興協会、大阪写真組合、大阪フェリー協会、近畿旅客船協会の協賛と、大阪水上バス（株）、近江トラベル（株）、（株）サンスターライン、四国開発フェリー（株）、新日本海フェリー（株）、太平洋フェリー（株）、南海フェリー（株）、阪九フェリー（株）、琵琶湖汽船（株）、（株）フェリーさんふらわあ、宮崎カーフェリー（株）、（株）名門大洋フェリーの各船社からの協力を得て実施しました。

本年もホームページでの広報や関係先への募集チラシの配布により、海をテーマとした写真を募集したところ、全国各地より426名、1,418点の応募があり、塚田澄子先生（全日本写真連盟関西本部委員）を中心に後援団体の代表者を交えた審査員による審査会を開催し、推薦1・特選2・特別賞2・準特選6・入選29、計40点の受賞を決定しました。

推薦（近畿運輸局長賞）は笠井忠さん（奈良県）の「道頓堀川船渡御巡幸」、特選の（大阪府知事賞）は西田裕さん（大阪府）の「夕日に染る」、（大阪市長賞）は岩井英二さん（大阪府）の「リスペクト」、特別賞の（大阪海上保安監部長賞）は神田和典さん（大阪府）の「全方位放水」、（（一社）日本長距離フェリー協会会長賞）は谷野隆さん（山口県）の「進水式」、準特選の（大阪商工会議所会頭賞）は上杉裕昭さん（三重県）の「ジンベイザメ・空へ」、（（公財）関西・大阪21世紀協会理事長賞）は門林泰志郎さん（福島県）の「大漁願い日」、（（株）海遊館社長賞）は吉田徹さん（奈良県）の「華やぐ港」、（（株）日本海事新聞社社長賞）は山根淳市さん（大阪府）の「レスキュー」、（（株）

海事プレス社長賞)は小泉次郎さん(愛媛県)の「楽しい見学会」、((一社)日本海事代理士会会長賞)は松田裕次さん(宮崎県)の「パパのけっさく」が受賞しました。

全ての受賞作品を当協会の機関紙「近畿海事広報協会たより」に掲載するとともに当協会ホームページとフェイスブックで公表しました。

また、一般財団法人日本モーターボート競走会からの受託事業である「ボートレース場等を活用したイベント」として、ボートレース場・ボートピアにおいて「第42回海の写真コンクール受賞作品展」を次のとおり開催しました。

1. 「住之江ボートレース場」
実施時期 令和2年10月15日(木)～11月30日(月)
入場者数 来場者 114,669人
2. 「びわこボートレース場」
実施時期 令和2年10月15日(木)～11月30日(月)
入場者数 来場者 29,487人
3. 「ボートピア梅田」
実施時期 令和2年10月15日(木)～11月30日(月)
入場者数 来場者 185,613人
4. 「ボートピア京都やわた」
実施時期 令和2年10月15日(木)～11月30日(月)
入場者数 来場者 53,941人

4、上記の事業区分に該当しない事業(公益目的事業区分18)

(1) 海事知識の普及事業

一般財団法人日本モーターボート競走会からの受託事業として、「海の日」・「海の月間」関連行事やボートレース場等で行われているイベント会場において、小中学生を中心とした児童向けの海事知識普及のための資料や海の日グッズなどの配布を行なうことにより、海事知識の普及事業を実施しました。

1. 海の月間にあわせた海事知識の普及事業
実施時期 令和2年7月1日(水)～31日(金)
実施場所 大阪府大阪市「住之江ボートレース場・ボートピア梅田」・滋賀県大津市「びわこボートレース場」
参加者数 ファン入場者数 136,271名・126,428名・15,780名
2. びわこファミリーカーニバル2020「ペアボート試乗会」「びわこ少年少女ゴムボート大会」における海事知識の普及事業はコロナ感染防止のため中止しました。
3. キッズカフェ 海の月間にあわせた海事知識の普及事業はコロナ感染防止のため中止し、地元自治会主催の「美濃山地区夏祭り」の会場にて海の日グッズを来場の子どもたちに配布しました。
実施時期 令和2年9月20日(日)
実施場所 京都府八幡市「きんめい公園」

参加者数 入場者 約 200 名

4. 2020 住之江フェスティバル（ボートレースブース）における海事知識の普及事業は、コロナ感染防止のため中止しました。

II、その他事業（相互扶助等の事業）

1、他団体との連携事業と海事広報宣伝物等の発行・配布

(1) 他団体との連携事業

海事関係の各種団体と積極的に連携し、次の行事の共催・協賛・後援等を行ないました。

1. 大阪港港湾功労者表彰式における被表彰者の推薦
2. 海の日海上安全祈願祭（大阪船主会・（公財）海上保安協会大阪支部）の共催
3. 令和2年「海の日」記念行事（海南下津港湾振興会）の協力
4. 令和2年度「白浜第一小学校・第二小学校5年生への出前授業」（全日本海員組合）の協力
5. 新年海上安全祈願祭（大阪船主会・（公財）海上保安協会大阪支部）の共催

(2) 会議等

1. 令和2年5月15日（金） 於：大阪市 第一大阪港ビル
（公社）大阪港振興協会監査
2. 令和2年5月28日（木） 於：大阪市 第一大阪港ビル
（公社）大阪港振興協会令和2年度第1回理事会
3. 令和2年6月24日（水） 於：大阪市 近畿運輸局
第57回中学生海の絵画コンクール審査会
4. 令和2年6月25日（木） 於：大阪市 第一大阪港ビル
（公社）大阪港振興協会令和2年度定時総会
5. 令和2年6月29日（月） 於：大阪市 近畿運輸局
第42回海の写真コンクール審査会
6. 令和2年6月30日（火） 於：大阪市 近畿運輸局
近畿若年内航船員確保推進協議会令和2年度協議会
7. 令和2年7月20日（水） 於：大阪市 住吉大社
令和2年「海の日」海上安全祈願祭
8. 令和2年7月22日（水） 於：大阪市 近畿運輸局
「海事関係功労者表彰式」打ち合わせ会
9. 令和2年7月28日（火） 於：大阪市 大阪港勤労福祉会館2階会議室
令和2年「海の日」海事関係功労者表彰式
10. 令和2年10月27日（火） 於：大阪市 築港高野山釈迦院
第45回大阪港湾労働殉職者合同慰霊祭
11. 令和2年10月30日（金） 於：大阪市 当協会事務所 WEB 参加
公共交通機関のコロナ感染防止対策セミナー
12. 令和2年11月10日（火） 於：大阪市 当協会事務所 WEB 参加

京都舞鶴港オンラインセミナー

13. 令和2年10月8日(木)～11月12日(木) 於：大阪市 大阪文学学校
第54回中学生海の作文コンクール審査
14. 令和3年1月26日(火) 於：大阪市 住吉大社
令和3年新年海上安全祈願祭
15. 令和3年2月9日(火) 於：大阪市 当協会事務所WEB参加
令和2年度大阪みなとセミナー
16. 令和3年2月10日(水) 於：大阪市 当協会事務所Zoom会議
令和2年度全国海事広報協会事務局長会議
17. 令和3年2月24日(水) 於：大阪市 当協会事務所WEB参加
第1回日本・インドビジネスオンラインセミナー
18. 令和3年3月5日(金) 於：大阪市 当協会事務所 オンライン配信
第9回 災害対策シンポジウム
19. 令和3年3月19日(金) 於：大阪市 第一大阪港ビル
(公社)大阪港振興協会令和2年度第2回理事会

(3) 海事広報宣伝物等の発行・配布

海洋環境について理解を深め、海や海事産業に親しみを深めてもらうため、(公財)日本海事広報協会をはじめとする海事関係団体等で作成された冊子・パンフレットなどの海事知識普及資料や海の日グッズ等を各種イベント参加者に配布しました。

主な海事広報宣伝物等の発行・配布は次のとおりです。

1. 近畿海事広報協会たより(1月・7月の年2回発行)
2. 海上の友(毎月1回配布)
3. 日本の海運 SHIPPING NOW2020-2021(中学校等へ配布)
4. ぼくとわたしのシップガイド(各種イベント等で配布)
5. 海の日グッズ等(各種イベント等で作成・配布)
6. 2021世界の帆船カレンダー(会員・関係者へ作成・配布)

III、庶務事項

(1) 総会

令和2年5月12日(火) 於：大阪市 第一大阪港ビル8階会議室

1. 令和元年度事業報告及び決算の承認に関する件
2. (公社)近畿海事広報協会定款の一部改正に関する件
3. 役員任期満了に伴う改選に関する件

(新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、欠席し書面による議決権の行使を活用いただき、普通会员総数204名中、書面による議決権行使167名、出席8名で開催した。)

(2) 理事会

- ① 令和2年4月15日(水) 【書面による理事・監事全員の同意】

1. 令和元年度事業報告及び決算の承認に関する件
2. 会員資格取得（入会）の承認に関する件
仲田克美様の入会を承認
3. 令和2年度通常総会招集の承認に関する件
4. 顧問等委嘱の承認に関する件

- ② 令和2年5月12日（火） 於：大阪市 第一大阪港ビル8階会議室
1. 会長、副会長及び専務理事の選定に関する件
 2. 報告事項：代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告

- ③ 令和2年9月10日（木） 【書面による理事・監事全員の同意】
1. 顧問委嘱の承認に関する件

- ④ 令和3年3月2日（火） 於：大阪市 第一大阪港ビル8階会議室
1. 令和3年度事業計画（案）及び収支予算（案）の承認に関する件
 2. 報告事項：代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告

(3) 監査

1. 令和2年4月6・9日（月・木） 於：大阪市 当協会事務所
当協会監事による令和元年度事業並びに収支状況の監査

(4) その他

① 内閣府申請事項

1. 令和2年5月20日 事業報告等に係る提出書（令和元年度）
2. 令和2年6月12日 変更届出書（役員・定款の変更）
3. 令和2年7月9日 変更届出書（役員の辞任）
4. 令和2年8月12日 変更届出書（役員の辞任）
5. 令和3年3月3日 事業計画書等に係る提出書（令和3年度）

② 法務局法人登記事項

1. 令和2年5月15日 変更登記申請書（理事・代表理事・監事の任期満了）
2. 令和2年6月30日 変更登記申請書（理事の変更）
3. 令和2年8月3日 変更登記申請書（理事の変更）

令和2年度 決算報告書

公益社団法人 近畿海事広報協会

(1) 貸借対照表

令和3年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度(A)	前年度(B)	増 減(A-B)
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	4,470,269	2,101,944	2,368,325
前払金	95,850	123,900	-28,050
未収金	0	200,279	-200,279
立替金	95,000	95,000	0
流動資産合計	4,661,119	2,521,123	2,139,996
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
事業特別積立資産	5,000,000	5,000,000	0
(2) その他固定資産			
事務所契約敷金	362,550	362,550	0
固定資産合計	5,362,550	5,362,550	0
資産合計	10,023,669	7,883,673	2,139,996
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0	0	0
前受金	1,540,000	100,000	1,440,000
預り金	53,126	47,137	5,989
流動負債合計	1,593,126	147,137	1,445,989
2. 固定負債			
	0	0	0
固定負債合計	0	0	0
負債合計	1,593,126	147,137	1,445,989
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	8,430,543	7,736,536	694,007
(うち特定資産への充当額)	(5,000,000)	(5,000,000)	(0)
正味財産合計	8,430,543	7,736,536	694,007
負債及び正味財産合計	10,023,669	7,883,673	2,139,996

(注) 「公益法人会計基準」の運用方針(平成20年4月11日、改正平成21年10月16日、内閣府公益認定等委員会)を適用して作成している。

(2) 正味財産増減計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度(A)	前年度(B)	増減(A-B)	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
特定資産運用益	470	470	0	
特定資産受取利息	470	470	0	
受取会費	8,600,000	8,730,000	-130,000	
普通会員	8,350,000	8,480,000	-130,000	
その他の会員	250,000	250,000	0	特別会員、賛助会員
事業収益	4,387,000	6,179,190	-1,792,190	
受託事業収益	4,267,000	4,449,190	-182,190	日本海事広報協会 日本モーターボート競走会
協賛金収益	120,000	1,730,000	-1,610,000	海の日祝賀会等
受取負担金	0	107,400	-107,400	
受取負担金	0	107,400	-107,400	和歌山県海運組合等
受取寄付金	0	0	0	
受取寄付金	0	0	0	
雑収益	43,895	39,529	4,366	
受取利息	47	34	13	
雑収益	43,848	39,495	4,353	日本海事広報協会等
経常収益計	13,031,365	15,056,589	-2,025,224	
(2) 経常費用				
事業費	10,399,436	12,322,277	-1,922,841	
制作費	33,000	132,400	-99,400	海の月間関係
イベント開催費	101,600	1,354,360	-1,252,760	海の日祝賀会等
広報宣伝物費	961,949	887,259	74,690	海事広報資料作成・購入
表彰費	346,734	361,731	-14,997	各種コンクール関係
給料手当	2,817,779	2,731,713	86,066	
事務局嘱託料(給料手当)	1,200,000	1,200,000	0	船との出会い事業
臨時雇賃金	808,000	1,004,000	-196,000	
福利厚生費	231,610	597,743	-366,133	
会議費	19,721	19,840	-119	
旅費交通費	339,565	356,270	-16,705	通勤費を含む
通信運搬費	613,606	531,895	81,711	
消耗品費	309,996	263,310	46,686	
印刷製本費	730,713	839,824	-109,111	
賃借料	581,072	1,033,796	-452,724	船賃・バス・借室料等
事務管理費(賃借料)	694,000	574,000	120,000	借室料等
保険料	33,496	59,784	-26,288	
諸謝金	210,000	180,000	30,000	審査料等
支払負担金	5,000	39,500	-34,500	共催行事等
支払助成金	70,000	125,000	-55,000	各地区海の月間行事等
雑費	291,595	29,852	261,743	

科 目	当年度(A)	前年度(B)	増減(A-B)	備 考
管理費	1,937,922	2,318,590	-380,668	
給料手当	704,445	682,929	21,516	
臨時雇賃金	302,750	205,750	97,000	
福利厚生費	57,903	149,436	-91,533	
会議費	124,128	521,965	-397,837	総会・理事会等
旅費交通費	82,130	76,410	5,720	通勤費等
通信運搬費	173,691	171,089	2,602	
消耗品費	76,953	61,044	15,909	
印刷製本費	115,197	123,594	-8,397	
賃借料	121,768	145,444	-23,676	借室料・共益費等
支払負担金	130,000	131,500	-1,500	各種会費等
雑費	48,957	49,429	-472	
經常費用計	12,337,358	14,640,867	-2,303,509	
当期經常増減額	694,007	415,722	278,285	
2. 經常外増減の部				
(1) 經常外収益	0	0	0	
經常外収益計				
(2) 經常外費用	0	0	0	
經常外費用計				
当期經常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	694,007	415,722	278,285	
一般正味財産期首残高	7,736,536	7,320,814	415,722	
一般正味財産期末残高	8,430,543	7,736,536	694,007	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	8,430,543	7,736,536	694,007	

(注) 「公益法人会計基準」の運用方針(平成20年4月11日、改正平成21年10月16日、内閣府公益認定等委員会)を適用して作成している。